

1926

ふりかえり

ラジオをきいていると

昔のミとげみ出てくる

夏部がラジオ 盛岡がラジオ

私に一つは染布 履けていた

インスタイルト ライメソッドの括弧あり

お湯をへたのビヤ

毎日のように つくっていた

すのかりやすれっていいことばかり

やすれっていいことばかり 知る事のことばかり

花火

手ぬいどと見ていたことまぶした

夏と花と花はがりうは

夏と花と花はがりうは

ちねじろ ろんじ花火 花火と

大それた事をするが だろうと思ってる

三重県の人が 花火の話を聞いた

行く方へ 人の新築地 子供の世の暮ら

も型押ししたのが花火でやる

その日の方の 花火と はじりを知った

だから 日本人がサカスカころ

花火をあげる こととなる

若いのころ ちゃんと早く やっていられた 理由不

わかすすた すぎた 来た

遠り 昔のことと比べての

た子には ぶりおえり まいり

2023
8/25